

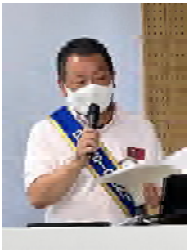
2022-2023 年度 国際ロータリー第 2730 地区 宮崎県中部グループ

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 94 回例会 2022 年 8 月 23 日

●例会場 宮崎大学附属図書館 3 階「komorebi」
会長 薬王寺文宏 副会長 成合 修 幹事 安田文彦

■会長の時間 薬王寺文宏 会長



みなさん、お盆でゆっくりお休みになれましたか？

私は例年、高校野球 OB 大会というのがお盆休みに開催されるので、ゆっくりしたお盆休みは過ごせません。ですが昨年、一昨年はコロナの為大会が中止になりましたので、10 数年ぶりにゆっくりしたお盆を私は、3 年ぶりの開催となった今大会が億劫でたまりませんでした。

結果は今大会が初参加となった小林高校 OB チームが大躍進して決勝戦まで進みましたが、過去 2 回優勝している鵬翔高校 OB チームが底力を発揮し優勝、11 月に阪神甲子園で開催される『マスターズ甲子園 2022』に宮崎代表として出場します。

運動不足(?)の“元球児たち”が、炎天下の中試合を行う大会ですので細心の注意を払っていますが、今大会はアキレス腱断裂と肩脱臼という大怪我を負う方を出してしまいました。今後は一層の注意を払い、退会の運営を行いたいと思います。

みなさんも日頃から身体を動かし、健康維持に努めてください。

■幹事報告 安田文彦 幹事



みなさん、こんにちは。

本日の幹事報告は 4 点ございます。

- 1 第 8 期 RLI-2730 パート I のご案内
第 2730 地区 RLI が再開されます。
開催日時は、2022 年 9 月 23 日（金・祝）です。
開催場所は、田村学園・都城調理師高等専修学校です。
詳細は、改めてご案内いたします。

2 第 3 回フォトコンテストについて

フォトコンテストの応募にあたって、プリント写真、写真データをご準備いただき、申込書を提出していただく必要があります。

どうぞよろしく願いいたします。

3 第 20 回記念ロータリー全国囲碁大会のご案内

2022 年 11 月 5 日（土）に東京市ヶ谷の日本棋院にて第 20 回記念ロータリー全国囲碁大会が開催されます。

4 寄附について

2022 年 8 月 9 日の寄付についてご報告いたします。

ロータリー財団が 1,600 円、米山奨学金が 2,833 円でした。

引き続きよろしく願いいたします。

■各会員からの報告



クラブ増強委員会より

伊達委員長

1. おとも de メークアップ第1弾 参加者募集のお知らせ

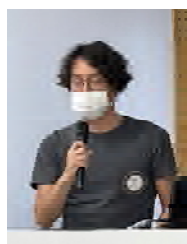
宮崎市を中心に、他のロータリークラブ例会にメークアップし、当クラブの周知を図るとともにクラブ間の交流を活性化する目的で、2022-2023年度に“おとも de メークアップ”を計画しています。第1弾として、9月6日（火）に宮崎ロータリークラブにメークアップすることが決定しました。メールで詳細をお送りしますので、添付ファイルに必要事項を記入の上、お申し込みください。

2. 宮崎県男女共同参画センターからのお知らせ

若年層への男女共同参画事業「こんなところにジェンダーが！？～日常のモヤモヤ、性差の違和を探る～」(講師：清田隆之氏)が9月3日（土）にwebで開催されます。本委員会の2022-2023年度活動計画でも、DEIへの理解を深めることを掲げておりますので、参加ご希望の方は受付にあるチラシのQRコードから申し込みをお願いいたします。

3. 宮崎県産婦人科医会・宮崎県産婦人科学会から市民公開講座のお知らせ

9月17日（土）に「子育ては感謝の気持ちで～女性たちの奮闘の果てに見えたもの～」(講師：樗木晶子氏)と題した市民公開講座がwebにて開催されます。こちらもDEIへの理解を深める一助となる企画ですので、参加ご希望の方はチラシのQRコードから申し込みをお願いします。

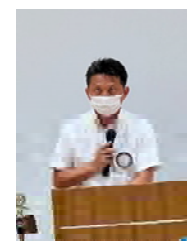


クラブ管理委員会より

出席担当 瀧委員

第94回例会出席について、次の通り報告いたします。

- ・開催日：2022年8月23日火曜日
 - ・会員数：35名
 - ・ホーム出席：16名
- ・オンライン出席：5名
・出席者合計：21名（暫定出席率60.00%）



クラブ管理委員会より

プログラム 辻委員長

○次回例会について

2022.9.13（火）12:00～13:00「hidamari」です。

次回の設営、撤去は第2班（金岡会員、木村会員、國武会員、久保会員、児玉会員）です。担当者の方々は30分前に集合してください。

親睦 辻委員長

○ゴルフコンペについて

第4回宮崎アカデミーRCゴルフコンペのご案内をお配りしております。

1. 日時：令和4年9月24日（土）9時20分集合（9時50分スタート）
2. 場所：宮崎レイクサイドゴルフクラブ（宮崎市清武町今泉丙1331-1）
3. プレー代：10,770円（セルフ・昼食別）

参加費 2,000円（成績発表は開催日後の例会で行います）

チャリティーホール 1,000円【500円以上×2ホール】

参加の有無を8.27（土）までにご連絡ください。

■ 卓話 明石会長エレクト



宮崎大学基金について

一般基金

大学の修学支援・施設整備・国際交流活動、キャンパス設備の整備など、より幅広い教育活動の発展を促進し、魅力ある大学づくりに活用します。なお、「一般基金」に1万円以上の寄付をいただいた方のうち、「送料負担型」で希望する方へ「宮崎大学美術館・美術館」を贈呈いたします。また、「所得控除」の特典も受けられます。

用途

1. 学生に対する支援（「修学支援事業基金」）
2. 研究活動に対する支援（「研究支援事業基金」）
3. 地域・国際貢献活動に対する支援
【外国人卒業生（アフリカ2カ国等）の派遣費用に係る費用は、この枠から行われます】
4. 学外での学業活動に対する支援
5. 図書館・研究施設の整備・研究活動に対する支援
6. 卒業生に対する支援
7. 教職員に対する支援

宮崎大学基金の概要

宮崎大学は、「教育と研究」の発展を促進するための公益目的を掲げ、地域に根ざりながら発展してきた歴史ある大学であり、社会貢献活動の推進に取り組んでいます。

宮崎大学は、大学の教育・研究活動、国際交流・国際連携、キャンパス設備の整備など、より幅広い教育活動の発展を促進し、魅力ある大学づくりに活用します。なお、「一般基金」に1万円以上の寄付をいただいた方のうち、「送料負担型」で希望する方へ「宮崎大学美術館・美術館」を贈呈いたします。また、「所得控除」の特典も受けられます。

用途

- 一般基金
- 研究支援事業基金
- 修学支援事業基金

外国人卒業生（アフリカ2カ国等）の派遣費用に係る寄附のお願い

現在、アフリカ2カ国（エジプト、ウクライナ等）紛争や戦争により人権危機に直面して、帰国が困難なまま、または帰国に困難な外国人卒業生に対する派遣費用の必要が生じております。このような事態を受けて、大学は外国人卒業生がその母校に帰国して活躍できるように、日本国内各大学の学費支援センターとして、以下の活動を予定しています。

これまで、外国人卒業生への派遣費用、帰国費用や生活費のサポートのみならず、広く一般の方からもご寄付を頂いております。本事業の発展にご理解いただき、皆様からのご寄付を頂きますようお願いいたします。

【支援の概要】

1. 帰国が困難なままの外国人卒業生に対する支援
 - ・ 日本国内各大学の学費支援（送料を含む）
 - ・ 航空運賃（東京・福岡発着）
 - ・ 滞在費（食費・洗濯費含む）
 - ・ 一時金（旅行）
 - ・ 「帰国費」として一時金の提供
 - ・ 帰国後の就職支援
2. 帰国に困難なままの外国人卒業生に対する支援
 - ・ 日本国内各大学の学費支援（送料を含む）
 - ・ 学費支援センターの学費支援
 - ・ 学生の身分の付与
 - ・ 学生寮への入居や学内施設の提供（一時金含む）
 - ・ 本人帰国の援助

修学支援事業基金

経済的困難により修学が困難な学生を支援するための「修学支援事業基金」を設立し、下記の学生の修学支援に取り組む活動を想定しました。なお、「修学支援事業基金」にご賛助の方については、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」のどちらか有利な税法上の優遇措置を選択することが可能です。

1. 授業料、入学料又は授業料の一部又は一部の免除その他の学業上の経済的負担の軽減
2. 学費の給与又は給付
3. 教育研究上の必要があると思われる学生等による海外への留学に係る費用の負担
4. 本学の規則に基づき、学生を教育研究に係る業務に雇用するための費用の負担

修学支援事業基金による活動状況

修学支援の一環として食料品を無料配布しました(令和3年7月2日)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて生活が困難な学生を支援することを目的に、本キャンパスおよび清武キャンパスにて、合計60人の食料品セットを無料で提供しました。

本企画は、宮崎大学生協同組合様による寄附、本学災害備蓄品の提供、また、修学支援事業基金を活用することで実現しました。

受け取った学生からは「食費を少しでも節約できるのでとてもありがたいです」との声をいただきました。

「学生向け100円弁当」を900食販売しました(令和3年10月20日)

宮崎大学に在籍する学生を対象とした修学支援事業の一環として、宮崎大学生協同組合と附属図書館に併設したライブラリーカフェ「ニコマルカフェ」を運営する株式会社デリーマームと連携して実施したもので、通常のお弁当代金から100円を差し引いた金額を本学が持つ修学支援事業基金を財源として負担することで実現しました。

お弁当を購入した学生からは「一人暮らしということもあり、生活費の負担が大きいなか、100円弁当の販売は食費の節約になるので大変助かる」と喜びの声がありました。

「学生向け100円弁当第2弾」を1,160食販売しました(令和3年11月10日)

「学生向け100円弁当」の第2弾を実施し、1,160食が30分で完売しました。2回目の注目弁当である限定50食の「コロナに勝つカレー」(カツの大きさが通常の1.5倍)は販売開始前から行列ができ、わずか3分で売り切れとなりました。

お弁当を購入した学生からは「月に1回でもこういった支援があると大変助かります。今回は限定カレーが売り切れのため、食べることができなかったが、次回は是非味わってみたい」と喜びの声がありました。



食料品とマスクの詰め合わせを1,400人分配付しました(令和3年12月17日)

コロナ禍における学生の生活面での不安を少しでも取り除いてもらうことを目的に、修学支援事業基金に加え、(1)宮崎県生活協同組合連合会様、(2)宮崎大学生生活協同組合様、(3)宮崎県農協果実株式会社様、(4)株式会社エコープみやざき様からのご厚意により、今年度2回目となる食料品等の配付が行われました。春日圭太さん(工学研究科1年)は「思ったよりもたくさん入っていた。今回はパスタやお米なども入っていてとても嬉しい」、木村明倫さん(工学部3年)は「友人でもアルバイト収入などが減っている人が多く、このような支援は私たち学生にとっても助かります」とコメントを寄せてくれました。

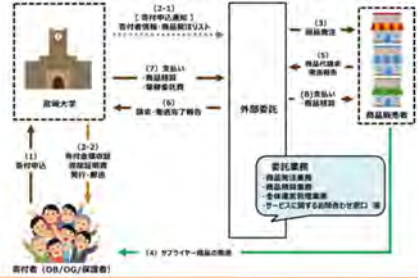


修学支援事業基金による活動状況

- ① 合計600人分の食料品セットを無料配付しました(令和3年7月2日)
- ② 「学生向け100円弁当」を900食販売しました(令和3年10月20日)
- ③ 「学生向け100円弁当第2弾」を1,160食販売しました(令和3年11月10日)
- ④ 食料品とマスクの詰め合わせを1,400人分配付しました(令和3年12月17日)



宮崎大学:ふるさと納税型寄附金スキーム



【スキームの流れ】

- (1) 寄付者から大学HPにて寄付申込
- (2-1) 大学担当部署から外部委託業者へ寄付申込通知
- 寄付者情報、商品発注リストの共有
- (2-2) 大学より寄付金領収証・控除証明書発行・寄付者への郵送
- (3) 外部委託業者にて寄付者情報・商品発注リストをサプライヤ毎に整理・発注
- (4) サプライヤより寄付申込者へ商品発送
- (5) サプライヤから外部委託業者へ商品発送報告と商品代金の請求
- (6) ● 外部委託業者から大学へ発送状況の共有
- 外部委託業者にて請求書の整理・大学へ商品代金の一括請求
- (7) 大学担当部署より、外部委託業者へ商品代金・業務委託費のお支払い
- (8) 外部委託業者からサプライヤ毎に商品代金のお支払い

研究等支援事業基金

学生又は不安定な雇用状態にある研究者への研究費を支援するための「研究等支援事業基金」を設立し、下記の研究費支援に切り替わり体制を整えました。なお、「研究等支援事業基金」にご依頼の方については、従来の「普通経費」に加え、「教職経費」のどちらが有利な経費上の優遇措置を選択することが可能です。

- 1. 公募により選定された教職等研究費に関するプロジェクトにおいて、自発した研究として行う研究活動に関する費用を負担する事業
- 2. 独自の発刊に関する費用、学芸等への参加に関する費用その他の費用で研究活動の促進を推進するために必要なものを負担する事業
- 3. 専門とする分野に係る研究者としての能力及び業績の向上を主たる目的として、異分野の研究者との交流その他の研究者又は異質異様な研究者との交流を促進する事業。ただし、学生については、大学に在学する者に限る。

「研究等支援事業基金」につきましては、ウェブサイト上でご依頼は利用できませんので、誠に恐縮ですが、「電話によるご依頼」をご利用いただけますようお願い申し上げます。

